

にこにこだより

早いもので入園して2か月が過ぎようとしています。不安でいっぱいだった子どもたちも、「おはよう！」ときらきらの笑顔で登園することが増えてきました。

幼稚園での生活の仕方が少しずつ分かってきて、登園すると自分で弁当を出し、ロッカーにかばんと帽子を片付けに行ける子が増えてきました。また、様々な場所に教師と一緒に出かけいろいろなことに興味をもって遊びを楽しむ姿も見られるようになってきました。

〈バギーカー〉

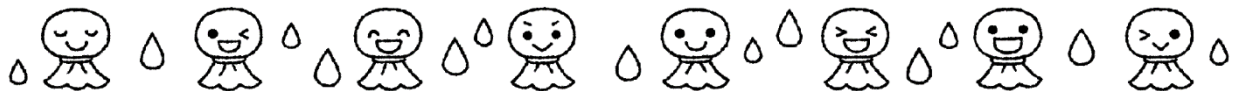
〈つみき〉

〈バスごっこ〉

しんごうあおです、
どうぞー！



バスにのって
ゆられてる
ゴーゴー！



『いいものみーつけた！』

努力点テーマ：“おもしろそう！” “やってみたい！” と主体的に遊ぶ幼児を目指して
～造形遊びを通して～

努力点とは、幼稚園全体として、どんな子どもたちに育てたいか、どんなことを大切にしていけるかを具体的に決めて取り組んでいくものです。今年度は、「造形遊び」に着目し、テーマを設定しました。環境・教材の工夫や教師の援助を研究することで、子どもたちが「おもしろそう」「やってみたい」と感じながら、自分らしく伸び伸びと表現する楽しさを味わっていけるようにしたいと考えています。

今、保育室では、ちょうちょやいちごの形に切った紙に絵を描いたり、シールを貼ったりすることを楽しんでいます。3歳児には、好きなものを繰り返し作ったり、すぐに手にとって遊べるような環境が必要であると考え、教師がいろいろな形に切ったものをたくさん準備したり、作ったものをすぐに出し入れできる自分の入れ物を用意したりしています。また、子どもたちが「やってみたい」と思えるよう、壁にいちごと葉っぱを貼っておいたり、教師がちょうちょを手を持って朝迎えたりしました。すると「私もいちご作りたい」と言って作ったり、作ったものを広告棒につけ、手に持って園庭で走ったりする姿が見られました。

今後も、教師と一緒に遊んだり、環境などを工夫していったりすることで、子どもたちが「やってみたいな」と感じながら造形遊びを楽しんでいけるようにしていきたいと思っています。

いちご
たくさん
作るよ



シールを貼る
ことは指先の
発達にもつな
がります